

令和3年度 北海道教育大学函館校国際地域学科地域環境科学グループ
編入学試験小論文問題

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
- 2 この問題冊子は、白紙1枚と問題本文2ページ、解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚あります。
- 3 「問1」「問2」すべてを解答すること。
- 4 解答用紙は、「問1」「問2」とも1枚あります。
- 5 解答は解答用紙に横書きとし、句読点および段落の空白も1文字とし、指定された字数内でまとめること。ただし、題・氏名は記入しないこと。
- 6 受験番号と問番号を、解答用紙の指定欄に記入すること。
- 7 解答用紙を2枚提出し、問題冊子・下書き用紙は、試験終了後持ち帰ること。なお、いかなる理由があっても解答用紙以外は受理しません。
- 8 試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等により交換を必要とする場合は、手を挙げて監督者に知らせること。

問題 次の文章を読み、下の問に答えなさい。

この部分は著作権の問題により公開できません

出典：D・サダヴァほか著（石崎泰樹・斎藤成也監訳）『カラー図解 アメリカ版大学生物学の教科書 第5巻生態学』（講談社）166-167pp.

問1 下線(a)あるいは図 26-11 中にある「種の豊かさ」という用語と類似した用語として、「生物多様性 (Biodiversity)」という用語があり、近年、さまざまな科学分野で用いられている。「種の豊かさ」と「生物多様性」という用語の意味の違いについて 300 字以内で論述しなさい。(50 点)

問2 下線(b)や図 26-11 に示されたような事実がある。このことから、「ミシガンの温帯林よりも、マレーシアの熱帯雨林のほうを優先的に保護すべきである」あるいは「グリーンランドよりも、コロンビアを優先的に保護すべきである」という主張を行った人がいたとする。この場合、あなたはその主張に「反対」するか、それとも「賛成」するか、「一概には言えない」と考えるか。「反対」、「賛成」、「一概には言えない」の、いずれの立場を選ぶかを明らかにしたうえで、その理由について 400 字以内で論述しなさい。(50 点)